

編集後記

肌寒い春。そして永かった梅雨から一転して酷暑の夏。とてもうっとうしいこの頃である。

だが、それにもまして心をくもらせるのは、この頃のゆがんだ世相だ。政情偏倚、公害激化、狂乱物価から母親の子殺しにいたるまで、まさに最悪な事態に追い込まれ、“福祉社会”よどこへ、といった感じでいっぱいである。

この頃の日本人は多少モノもちになってきたが、心のほうはかなり俗物化し、ゆるんできているのではないか。

なにが流通経済であり、なんのための“経済の発展”だったのかが依然として問われるゆえんである。

この期にあたり、本学ではまた学長改選期にともない、初代から御尽力のあった島田孝一学長の任をうけつがれ、開学以来より法学・民法を担当されてこられた佐伯弘治教授兼副学長が去る4月から第二代目の学長に就任され、学内もあらたに一段と活気づいてきている。

豊かな人間形成のための周到な社会経済構造のシステム化の研究に意欲を燃やし続けてきた本学の研究活動が、さらにたくましく前進していくことを、この機に一同とともに心あらためて誓いあいたい。

本号にお寄せいただいたご玉稿は、いずれも専門領域における高次なテーマへの意欲的なチャレンジが試みられており、先号と同様多くの労作をいただくことができたことをよろこびとしたい。

執筆者の諸兄に心からお礼を申しあげる次第である。(W)

流通経済論集 Vol. 9, No. 1 (通巻第30号)

昭和49年8月25日発行

非売品

編集兼発行所

製作所

流通経済大学学術研究会
茨城県竜ヶ崎市字平畑120番地
電話 竜ヶ崎 (02976-2) 3251 (代表)
財団法人 東京大学出版会
東京都文京区本郷7丁目3番地の1 東大構内
電話 東京 (03-811) 4281